

we design your home and life style. impression for life, to you.

秋の夜長の ア・ピアチェーレ。

眩しくにぎやかな夏がゆき、凜とした冬がくるまでの束の間、人は思い思いの趣味に生きる。秋の夜の長さが、そうさせるのかもしれない。自由に奏でる(ア・ピアチェーレ)時間は、喜び(ピアチェーレ)に満ちているはずだ。

音楽を聴くための時間をもっているか?

NO MUSIC, NO LIFE.とはタワーレコードの企業メッセージだが、生活のなかに音楽が常にある人は少ない。しかし、多くは「ながら聴き」ではなからうか。



好きな曲を流しながら、何かをする。それも悪くない。だが、音楽を聴くことを目的とした時間があってもいいだろう。静かな秋の夜、何をするわけでもなく、ただただ音楽に身を委ねて、耳を傾ける。それは、忙しい大人だけが知る、贅沢なひとときである。

居心地をつくる音。

*Sounds
for Life*



いい音響機器と音盤が いい音を生み出す。

心地よく感じる音は人それぞれだが、それでも、腹に響く重厚な音は格別だ。つい聴き入ってしまう魔力がある。音響機器の仕組みを大雑把にいうと、プレイヤーとアンプ(スピーカーを鳴らす機械)、スピーカーがそろってはじめて音は出る。優れたアンプは音の透明感が高く、大きなスピーカーは低音がよく伸びて迫力もある。いい音は、いい音響機器からしか生まれない。だから、一度でもいい音に出会うと、機器に心を奪われる。



音響のプロが伝授する オーディオライフ。

オーディオ・ビジュアルの専門店MAROの店長・片野拓史さんは、音響機器に囲まれて育った。注目は、アキュフェーズとエソテリックの機器とJBLのスピーカー。「一度にそろえるのが難しい場合は、スピーカーから始めるといいですよ」と片野さん。また、「機器の良さが発揮されるのは、ジャズやクラシックの生演奏を収録したもの。レコードで聴きたいですね。CDではカットされる音域も入っていて、ふわっとした余韻があります。臨場感のある音が楽しめるのです」



取材協力/オーディオ・ビジュアルの専門店MARO



【男と音のコラム】 バーボンと ブルースに 酔う。

自分の家をもつことになる、女はキッチンに夢をみて、男は書斎と車庫にこだわる。キッチンは生活の場だが、書斎と車庫は趣味のスペースだ。だから女には、男のこだわりが理解しがたい。しかし、いい男には一つや二つ、女の知り得ぬ憧れがあるものだ。

ウイスキーを片手に紫煙をくゆらせ、誰にも邪魔されずにお気に入りのナンバーを聴く。これぞ至福。

なに、自分だけのスペースにこだわらなくてもいい。リビングにちよつといいオーディオを置いただけ。そいつが鳴らす音が、そこを上質な空間に変えてくれる。

いい音ってやつは、暮らしを豊かにするものなんだ。男にとっても女にとっても。



my sweet house

owner's interview

オーダーはカフェのような家。 随所に感じられる和の趣。

vol.6

owner
Sさま

紅葉とライトアップ、 装いから個性際立つ。

静かな住宅街を歩くと、ひときわ目を引く建物に出会います。それがSさま邸。百坪ほどあるという敷地に、道路に対して斜めに建てられた家は、その外観からして個性的です。b.i.v HOMESの特徴である真っ白な塗り壁とコンクリートのパーティション。よく見ると、コンクリートには美しい木目が入り、木製の格子、もともと植えられていたモミジと相まって、クールな見た目にあたたかみを添えています。夜になると、また違う表情を見ることが出来ます。ライトアップされた庭木の影が壁面に映え、幻想的。その美しさに目を奪われます。



土間に設えられた キッチンとリビング。

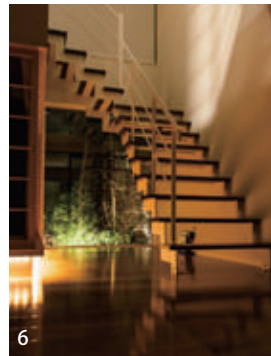
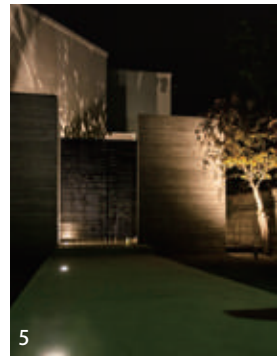
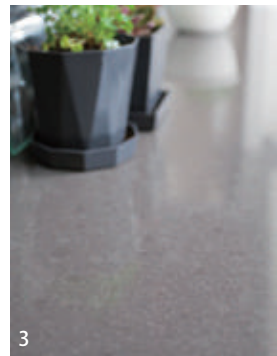
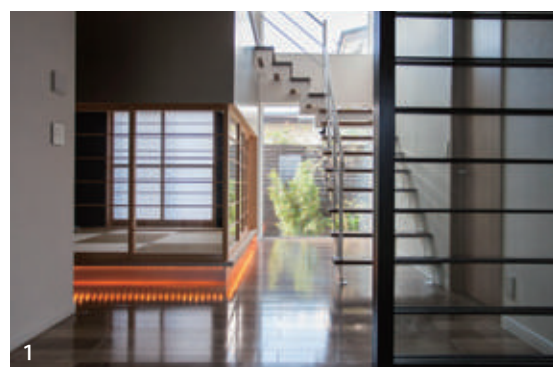
玄関に入って正面に、完全に独立したキッチンとリビングがあります。しかも、そこは土間です。「リビングは靴の生活にしたいので、土間にしてもらいました」とSさま。理由は、「自宅できつろぎすぎて、ラフな服装でソファに寝転がるということを防ぎたかったのです。最大の理由は、床に物を置かないから散らからないだろうということでした」。キッチンは、前の家でも使っていたメーカーの特注品です。この空間もまた、無機質なコンクリートとアイアン、ぬくもりのある木材が融合した美しいものとなっています。

玄関で出迎えるのは 借景と風雅な和室。

玄関の引き戸の向こうに、2階へと続く階段と琉球畳を敷いた和室があります。大きく取った窓の外には坪庭。ここにもまた、工夫があります。古来より用いられてきた借景の手法を使っているのです。裏手のお宅の手入れのゆきとどいた庭を風景として借りました。この贅沢な景色は、お風呂からも眺められます。リビング・キッチンの印象からは、あることさえ想像のつかない和室。希望したのは奥さまでした。決まった目的はなかったそうですが、どんな部屋としても利用できる和室は、あるだけで絵になり、場を引き締めます。

施主と設計者はかく語る できあがったのは常識と想像を超えた家。

施主・Sさま：オーダーは「カフェのような家」という簡潔なものでした。ウッディな喫茶店のような雰囲気が好みで、和テイストも好き。ざっくりとした希望を伝えるだけで、あとはプロに任せることにしました。青島社長のプランを見て「そうきたか!」と驚きました。それは想像をはるかに超えるものでした。設計者・青島：Sさまのご希望で最も頭を悩ませたのが、キッチンとリビングを土間にしたいというもの。靴をぬいで入る部屋と並べるのは難しい。完全に切り離すことを思いついてから、いまのプランが完成したのです。



1.玄関から眺める和室と階段。大きな窓は、外の風景を切り取る額縁のよう
2.太陽が降り注ぐリビング。つややかな床は炭を塗り込んだ土間 3.キッチン
の天板は人造石。成分の98%が石で、大理石よりも耐熱と強度に優れた
最高級の素材 4.リビングは吹き抜けで開放感がある。左手側のアイランド
キッチンの上はロフトで、らせん階段で通じています 5.夜にはライトアップ
されて幻想的に 6.和室の下の部分、坪庭もライトアップされる。昼とは全く
異なり、和風旅館を思わせる情緒ある雰囲気になる

今回のsweet houseは

b.i.v HOMES <ビブホームズ>

このブランドのコンセプトは、「白」をデザインした住宅。特徴は、①白い外壁 ②空間のゆとり(間仕切りとしての壁を減らす) ③家具に合うデザインです。スタイリッシュでクールな家を理想としている方に好まれています。





ようこそ、beusな店へ

木漏れ日のふりそそぐ 森のなかのパン屋さん。

宮の森パン工房

cafe et craft

幹線道路からアプローチを入ると、「宮の森パン工房」は現れる。白い塗り壁に映える、ネイビーの木の扉を開けると、おいしそうなパンが出迎えてくれる。日が差し込み、店内は明るい。「裏手は森のなかの遊歩道になっています。そのグリーンと光を取り込みたくて、窓をつくってもらいました」と、オーナーの土屋光伸さん。売り場は、圧迫感がないように天井を高くしたという。その工夫と窓の奥の風景とが相まって、コンパクトながら広々とした印象である。店に並ぶのは、北海道産小麦100%&無添加生地のパンと、小麦粉・バター・水すべてドイツ産のドイツパン。一番人気は「天然酵母パン」、完成までに7時間かかる。「毎日食べるものをつくりたい」とパン屋になった土屋さんの焼くパンは、すっかり近所の人たちの食卓の定番になった。

SHOP DATA



宮の森パン工房

札幌市中央区宮の森2条14丁目1-9
011-215-5659

営業時間/10:00~17:00
定休日/日曜・月曜・年末年始・お盆 駐車場/7台

■ CONSTRUCTION
ブランド: b-maison 施工: 2013年6月

※残念ながら年内の閉店が決まりました

ハコダテノ建テモノ

hakodate architecture spot

大正期から函館市の水がめ、 日本初のバッドレスダム。

建造物を愛する建築士が、函館の建物をマニアックに調査する！
今回は「笹流ダム」、お話しは函館市企業局上下水道部浄水課の熊谷 渉さんです。

ダムの型式を教えてください。

笹流ダムの特徴は、格子状の堤体(ダムの本体)です。このタイプをバッドレスダムといいます。バッドレスとは、床版=しょうばん(水をせき止めている遮水壁)を支える壁(扶壁=ふへき)のこと。これを横桁が補強しています。そのため、見た目が格子状になるのです。建設当時の日本にはバッドレスダムはなく、異例のものとしてかなり注目されたようです。1983・1984年の大規模改修のとき、隙間をコンクリートで埋めて重力式ダムにする案も出たようですが、コンクリート構造物としても歴史的に貴重な価値を有していることから、できるだけ元の特徴を将来に残していきたいとの思いがあり、バッドレス式の継続が決まりました。



日本初とのことで、建設中のエピソードはありますか？

なぜバッドレスダムが採用されたかという、建設費と工期の削減のためです。実例の多かったアースダム(盛り土をして造成するタイプ)や重力式ダムに比べると、使用するコンクリートの量が少ないので、コストを抑えられるうえに工期が短くて済みました。コストダウンのさらなる工夫が記録に残っています。バッドレスと横桁はセメント重量の1/4を火山灰に置き換えて、ダムの底から高さ9.7mまでのバッドレスには容積の約20%の玉石を混ぜたそうです。高価だったセメントの量を減らす策ですね。当時はポルトランドセメント、大規模改修時にはより水密性の高いフライアッシュセメントが使用されています。

笹流ダム

大正12(1923)年に完成した水道専用ダム。設計者は、函館出身の小野基樹(のちの東京市水道局長)。大改修工事を経て、いまなお現役で、五稜郭周辺から西側エリアの約32,000世帯の水をまかなっている ■アクセス/函館バス・赤川小学校前下車、徒歩10分



1. 現在の笹流ダムは、1983・1984年に改修されたもの。遮水壁を厚くし、バッドレスと横桁は劣化部分を削ったうえで新しくコンクリートで補強した。2001年、元町配水場と併せて「函館市の水道施設群」として「土木学会選奨土木遺産」に認定された 2. バッドレスの隙間から横桁を見上げたところ 3. 笹流川から1日7,000㎡、亀田川から1日14,000㎡の水が流れ込む。2005年、ダム湖百選に選ばれた 4. 前庭は広場として整備されて、市民の憩いの場となっている。秋は紅葉、春は桜が美しい



INTERIOR+

ビースの家をビースらしくしているのはインテリア。アンティークショップマネージャー川向が惚れ込んでいるアイテムをご紹介します。お気に入り一つプラスして、暮らしをより美しくしませんか。



ショップマネージャー 川向(かわむかい) 由加理のひとことアドバイス
ランプシェードを替えてみるのもオススメ。あと、アンティークの照明は全て、白熱電球・LEDのどちらにも使えて便利です。

#5: 照明 灯り装い、秋らしく。

これからの季節、家にいる時間が長くなります。秋といえばの読書や映画で、心を満たす。凝ったお料理にチャレンジしたり、お菓子づくりや手芸などの趣味に没頭する。アロマオイルを使ったマッサージで疲れを癒やす。心も体も豊かになりそうですね。

インドアライフをより豊かにしてくれるのが、灯り。家にいると、やはり照明器具は気になるもの。たとえば、ダイニングの照明を小ぶりのペンダントライトに替えてみましょう。それだけで、雰囲気かなり違うはず。読書や手芸をするなら、テーブルランプやフロアランプを取り入れてみる。手元が明るくなるのももちろん、それがおしゃれなものであれば、気分まで明るくなりますよ。夜の長い季節だから、照明をちょっと替えて、おうち時間を楽しみませんか。

みさお、冬の一読

『にっぽんのかawaiiなタイル 昭和レトロ・モザイクタイル篇』

加藤 郁美 著(図書刊行会)

INTER DÉCO HAUSの家を建てる醍醐味の一つがタイル選びっ!お客さまは、色を決めかねて悩みながらも楽しそうで、私はいつもニヤニヤしちゃいます♥ジャケ買いしたこの本は、昭和の香りがムンムンの可愛いタイルの表紙から、写真集かと思いきや…!?日本のタイル文化や歴史について丁寧に解説したもの。日本を代表するタイルの製造元と作品、モザイクタイルの第一人者・山内逸三の功績など、読みごたえたっぷり!モザイクタイルの写真に圧倒されながら、昔行ったスペインのゲル公園を思い出しました。ヨーロッパのタイルは、その文化と歴史をたいせつに、国の工芸品として守られてきたそうです。それにも「負けてないぜ、ジャパニーズ!!」と叫びたくなる、デザインと色使いにテンションが上がります。可愛いだけではない、その背景にジーンとしてしまった1冊でした。(専務/森山 操)



ホビーのススメ



今回の推薦人 境 真理恵

クックパッドさんは何でも教えてくれて、便利です

hobby 6: 料理 だから、おすすめします! 背伸びしない、無理をしない。

趣味といっても、特別な食材を買って来て、何時間もかけて料理する…わけではないです。ふだん食べるものをささっとつくることが多いかな。子どものころから、あたりまえのように料理をしていました。漁師の父が漁を終えて帰宅するのは朝10時、母は弟たちをサッカーの朝練に連れて行っていないことがある。それで、兄と二人で朝ごはんをつくるようになりました。いまは、メニューに困るとクックパッドで調べては、自分なりにアレンジします。忙しい日が続くとサボることもありますが、お昼はお弁当。簡単にできるおかずのレパートリーが増えましたよ。

お手軽にできて彩りのよい、生春巻き3種(ホタテ&クリームチーズ・エビ&アボカド・カニカマ&春雨)は、忙しい朝の救世主!

自慢アイテム: 「今日のお弁当」



beusugao ビースの素顔

うちって、本気でイベントする会社。

今年の夏に入社した4人組です(石浦政浩・小田英則・田上啓太・安岡 冨)。弊社には、「委員会」があります。入社早々、選択を迫られた私たちは、「イベント委員会」を発足。自分たちを歓迎するボーリング大会、大工さんを労う納涼焼肉会、秋の大運動会などを企画運営しました。これからもご期待ください!(イベント委員会メンバー)

暮らしとお金の専門家

FPに聞く

FP 奥田和彦さん



住宅ローンの借り換えで夢が叶う!?

住宅ローンの借り換えをシミュレーションした結果、総返済額で数百万円も減るケースがあります。迷わずに借り換えましょう。浮いたお金をどうするか。それはさまざまですが、私の担当したお客さまのなかには、新たにローンを組んでカーポートをつくることにしたご家族がいます。

それまでと同じ返済額で、カーポートが追加されるイメージですね。ビースでは、予算の都合で諦めていた庭やバルコニーをつくったり、塗り壁の塗り替えや外壁の洗浄、FRP補修などメンテナンスしたりするお客さまも多いようです。こんなふうに借り換えで夢を叶えられるかもしれませんから、まずはご相談ください。



あおしま社長の

ことのは

代表取締役 社長 青島 康夫

ジンスに学ぶ篇: 二杯茶 いつでもツキを呼ぶ方法

科学的根拠はないものの迷信と片づけられない、本質をついたことが世の中には存在します。「二杯茶」をご存じでしょうか。お茶は二杯目を出すべしというもので、その一杯を飲む余裕が災いを遠ざけるといって教えます。ほんの少しタイミングがずれて事故に巻き込まれなかった…

そんな話を聞きますよね。20代のころに恩師から教わったのですが、私は、「ちょっと見方を変えると世界は変わる」と理解しました。人は、自分の見ている世界のなかで生きています。見ているものしか見えない。焦点をずらすことで、これまで見えなかったものが見えることがあります。八方ふさがりのとき、思い悩んだとき、ツイてないと感じるとき、二杯茶の教えが解決策を運んでくれるかもしれませんよ。

ビースのホームページがリニューアル! 私たちが大切に「8つのデザイン」を公開。www.beus.jp



株式会社 ビース www.beus.jp
TEL 0120-56-0188
〒042-0942 函館市柏木町1-12
TEL0138-56-0555 FAX0138-56-0777

INTER DÉCO HAUS COZY
b.i.v HOMES b-maison
-ビー・メゾン-